

市同教 理事現地研修に行ってきました

11月5日(水) 豊岡市立出石隣保館

市同教理事の研修として毎年、実施しています。
今年度の研修先は「但馬の小京都」とも呼ばれる豊岡市出石町でした。18人が参加しました。
午前中は、出石隣保館において「きびしい差別を乗り越え、たくましく生き抜いた先人たちの歴史」と題した2時間の座学。午後は出石町市街へ出かけて、ゆかりの地をフィールドワーク。出石町の人権文化や十日町長事件と言われる行政闘争について学びを深めることができました。



第76回 全国人権・同和教育研究大会に参加しました

11月29日(土) / 11月30日(日) 西宮市・大阪市

全国人権・同和教育研究大会が「差別の現実から深く学び、生活を高め未来を保障する教育を確立しよう」を大会テーマに開催されています。
今回のスローガンは「子どもたちの『事実』を出発点にそこに向き合う具体的な『実践』をととして、人類普遍の真理を探究し、すべての人権が確立された社会づくりを実現しよう」でした。市同教からは8名が参加しました。
大会のまとめは、全国人権教育研究協議会のホームページに掲載されます。
1日目午後と2日目午前は、各自が希望する分散会に参加しました。2日間を通した参加者の報告書より感想の一部をご覧ください。

「自主活動」分科会では、大学生の方が報告されていた。差別をなくすために自ら行動する姿だった。「子どもに人権を考えてほしい。」その前に、大人である私たちが人権を考え、行動しているだろうか。差別をなくすために「まずは家族、友だちを大切にすること」という話が出た。名前の付くようなスケールの大きな人権課題がある一方、身近で無自覚になりがちな人権侵害もある。一人の大人として自覚的になり、子どもたちの生活の中で人権を考える「場」を作りたい。

関西学院の第1分科会に参加。こども園の人権に関する取組を中心に聞き、文字を書けない子どもたちに人を大切にする事の難しさを学ぶことができました。幼少期の子どもたちの自尊感情をどう育むかという話の中で、「できたことがあれば、保護者に伝えお家でも思いっきり褒めてもらう」という意見がありました。良いことがあっても嫌なことがあっても、受け止めてもらえる安心感が小学校でも家庭でもこども園でも必要だと感じました。それぞれに啓発していくことが大切だと思いました。



第2分科会「自主活動」第2分散会に参加。驚いたのは、報告者、参加者ともに若い人たちが多かったこと。人権同和にかかわって子どもたちと向き合う熱意と地道な取組の報告にも感動しましたが、何よりも日ごろの悩みや課題を素直に話される雰囲気を感じ入りました。また、その悩みに真摯に向き合い助言をされる会場のムードにも驚きました。

家族ぐるみでの人権学習会への参加、子ども同士の対話の積み重ねによる人権意識の変容、ほかの人とのかかわりを拒否していた子の部落問題学習を通じての変容、人権フィールドワークを通じての外国にルーツをもつ子の変容など多くの取組の報告がありました。

現役時代に参加を重ね、そのたびに学びが開かれた感覚を再び実感できて幸せでした。

大会スローガンにある「子どもたちの『事実』を出発点に」の通り、どの実践報告も課題に向かって子どもたちが自信と笑顔をもって前に進む取組が報告されました。私が参加した第2分科会場では、会場いっぱいの参加者から次々と質疑や討論が展開され、みんなで差別解消に向けて一同となる熱を感じました。今回初めての参加でしたが、明日からの取組への勇気・熱意・自信をもらった研究大会でした。

第1分科会「人権確立をめざす教育の創造」に参加。まず、埼玉県の報告者から「出身でもないのに、子どもたちの前で同和問題を語ってよいのか葛藤している」との問いに、参加者から「差別を許してはならないという怒り、解決したいという思いを持って語ることができる」という意見が出された。私も迷いながら、葛藤しながら子どもたちの前に立っていたが、この言葉に大変勇気づけられた。また、大阪からは、長年、継続して子どもたちに思いを語ってもらう取り組みについての発表があった。差別によってつらい思いをしてきた地域の方々が、それでもなお学校を信じて経験を語ってくださる思いに教職員が応えようと、学校全体で取り組まれていた。若手の教職員が増える中、自分にできることが何なのか、改めて考えさせられた。これからは、先輩教師や過去に関わった地域の方々の思いより一層伝えていきたいと感じた。このように、私にとって大変学びが多く、自分自身の同和教育に対する温度が上がる大会となった。

学校教育部会の第一分科会「人権確立をめざす教育の創造」に参加しました。実践発表は、「子どもたちとの関わり」「地域とのつながり」などをテーマに、私たちが取り組んできた人権・同和教育を再確認できる内容でした。目の前のさまざまな課題を抱えた子どもたちと丁寧に向き合い、関わることから生まれる信頼関係、それが人権の基盤であるということ、また、地域とつながり、先人の想いを学ぶことで、人権は私たちの生活のなかにあることも学びました。子どもたち一人一人を大切に、地域とつながる人権・同和教育をこれからも大切にして、推進していきたいと思います。

『丹(まごころ)の里 人権のつどい』を開催しました

12月7日(日) 春日文化ホール

この会は丹波市、法務局柏原支局、市同教などの主催により、毎年12月の人権週間の時期に行っています。
開会行事の後、ステージでは「全国中学生人権作文コンテスト」兵庫県大会丹波地域(丹波市・丹波篠山市)予選で2,306作品の中から最優秀賞に輝いた3人の表彰と朗読、「人権活動事例発表」、俳優・タレントの副島淳さんによる「違いを楽しむ」と題した講演がありました。
市同教が担当した「人権活動事例発表」では、電動車椅子サッカー元日本代表監督の近藤公範さんに、「つながりを育む、出会いの力～障がい者スポーツを通して～」と題して、発表していただきました。『障がい者スポーツと関わる中で、自己実現を図るためには、自身を受け入れ、何に目をつけ、何を意識して取り組んでいくかが、障がいのあるなしに関係なく大切であると感じた。』『できないことではなく、できること』に目を向けた、前向きで一生懸命な選手たちの姿は、周りに勇気を与えている。大切なことは、自身の弱さを受け入れ、自分の可能性を信じること。そして、仲間と一緒に考え続けることだ。』と話されました。近藤さんの素敵な取組に感動しました。
会場には約360人が集い、人権について考えるよい機会となりました。



長年の知識と確かな技術と
自由な発想—
新しい業務スタイルを提案します。

防犯カメラ
防犯設計から
施工まで
徹底サポート！
安心と安全のため

オフィス全体のセキュリティ対策
○情報漏えい ○不正アクセス
○なりすまし ○迷惑メールブロック等
○データ改ざん等ブロック
UTM(総合脅威管理プラットフォーム)
Unified Threat Management

株式会社 ユニットシステム
株式会社 ユニットシステム
UnitSystem Corporation
https://www.unitssystem.jp
E-mail: info@unitssystem.jp

地域に笑顔を(^ ^)/

株式会社橋本電設 スポーツ事業部

ピュアスポーツ柏原

あなたの夢を叶えます。

PSK 柏原町大新屋449
☎73-0102

日本の旅 // 世界の旅 予約受付中

あなたの旅を応援します！

団体旅行・グループ旅行・個人旅行などお気軽にご相談下さい
■JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行などの海外パック旅行/国内パック旅行の手配
■宿泊のみの手配や食事・観光施設の手配も行います
■貸切バス・航空券・JTB券・フェリー券など各種船乗券の手配も行います
■格安海外航空券・海外のホテルの手配/バスボートの代理申請
など幅広いご要望にお応えいたします

◎お申込み・お問い合わせ
関西旅行社 丹波市柏原町柏原(JR柏原駅構内)
■丹波市で唯一の観光情報センターです。お気軽に足元を
(1時間無料です)をご利用ください

TEL (0795) 72-0325 FAX (0795) 72-2416
E-mail: info@kansairyoko.co.jp

JTB L&OK JTB kncl 日本旅行

丹波新聞は下記の店舗で最新号を販売しております。

丹波市
●ファミリーマート柏原下小倉店
●ひかみ四季菜館(大岡)
●道の駅 丹波おばあちゃんの里
●セブンイレブン丹波市辺南店

丹波篠山市
●ファミリーマート篠山丹南店
●岡本病院内 売店
●セブンイレブン篠山黒岡店

丹波新聞 TEL.0795-72-0530
FAX.0795-72-1956

丹波新聞 検索 購読はコチラから→